

2/11
～12

木のおもちゃが大集合 木育キャラバン in 松浦



同イベントが文化会館ふれあいホールで開催され、2日間で子どもから大人までの約1,200人が来場しました。

会場には、東京おもちゃ美術館から届いた大小200種類以上の珍しい木のおもちゃが並び、他にも丸太を切って作るコースターづくり体験や、マイ箸づくり体験、木や森に親しむ絵本コーナーなどが設けられました。

子どもたちは、温もり溢れる木のおもちゃに触れ楽しんでいました。

2/10
(金)

つたえる、職務に懸ける思い 消防職員意見発表会



消防職員の自覚と志気の高揚、資質の向上を目的に松浦市消防本部で開催されました。

この日は、各署の代表6人が職務を通じて得た教訓や抱負、提案などを発表。「聞く力で安心を」と題して発表した西 遼太さんが最優秀賞、富森 匠さんが優秀賞に選ばれました。

2人は、4月6日に本市で開催される第46回長崎県下消防職員意見発表会に市代表として出場します。

2/24
(金)

みんなの想いを集めて アルミ缶回収収益金による寄贈式



市内の全中学校では、平成10年からアルミ缶回収に取り組んでおり、収益金を活用して地域の福祉施設で役立つものを寄贈しています。

今年度は収益金102,530円（アルミ缶約2,650瓶）で車いすや手押し車を購入。青島小中学校の児童・生徒9人が「老人デイサービスセンターあおしま」（前田善人理事長）へ寄贈しました。

同校代表の川上杏莉さんは「青島はフェリーで缶を運ぶので、つぶして小さくしています。結構な力仕事で大変ですが、自分たちが少しでも役に立っているんだなと実感でき、うれしい気持ちになりました」と話しました。

2/16
(木)

集めた食料品を寄贈 フードドライブ贈呈式



長崎経済同友会佐世保地区（吉澤俊介代表幹事）と第一生命保険株式会社佐世保営業支社（浦部康志支社長）は、社員や会員企業から、保管されたままの食品などを持ち寄ってもらう「フードドライブ」で集めた食品を市へ寄贈しました。

企業41社などから集められた食品は、レトルト食品、飲料、調味料など120サイズ段ボール10箱分にのぼり、市の子育て支援に活用されました。

2/27
(月)

創業を目指して

令和4年度 松浦市ビジネスプランコンテスト



▲福浦 希さん、民也さん、真由美さん(左から3人)、田淵友子さん(右)

このコンテストは、独創性や実現性が高いビジネスプランを発掘・支援することで、創業を目指す人を応援するため市が開催しています。

今回、最優秀賞に福浦さんご家族(代表：真由美さん)(今福・浜ノ脇)の「健康と美容のためのおがくず酵素浴(福ちゃん農園)」、優秀賞に田淵友子さん(御厨・大崎下)の「Ghibli(ジブリ)育児世代とシニア世代の交流広場」が選ばれました。

2/24
(金)

伝統の「ものまね」にワクワク

古典芸能鑑賞



文化会館主催による文化事業の一環として、質の高い芸術、文化に触れることを目的に、上志佐保育所と松浦幼稚園で古典芸能鑑賞会が開かれました。

当日は、普段使われている教室に高座が運びこまれ、寄席の舞台に早変わり。子どもたちが寄席芸人の江戸家まねき猫さんによる動物のものまね芸を鑑賞しました。

猫の気持ちによる声の違いなど細かな芸に引き込まれ、会場は笑顔に包まれました。

3/5
(日)

美味しいお菓子が大集合

松浦のおさんじ 春のお菓子祭



松浦ならではの材料やデザインを使ったお菓子に出合える松浦お3時プロジェクト主催の同イベントが(道の駅)松浦海のふるさと館漁村体験学習施設で開催されました。

会場にはプロジェクトメンバーの菓子店の他、市内外から、おさんじに合う飲み物や春らしい雑貨などを取り扱うお店、写真館などが集合。約750人が会場を訪れ、当日限定・新発売のお菓子や、お茶・コーヒーなどを味わいながらイベントを楽しんでいました。

3/4
~5

色鮮やかなつばきが満開

第48回福島つばきまつり



同イベントが福島武道館と武道館前お祭り広場で開催され、県内外から多くの人でにぎわいました。

武道館では、ツバキの盆栽や鉢物の展示、ツバキの花苗販売や園芸指導のほか、町内・小中学生によるツバキを題材にした作品の展示などがありました。

また、広場では、つばき油などの特産品の販売や軽食コーナーなどもあり、訪れた人は買い物を楽しみながら、会場一面の「市の花ツバキ」に見惚れていました。